

L^AT_EX でレポートを作成するサンプル文章

だつかくあーていー

1 ここは第 1 節の見出しになります

ここは第 1 節の本文になります。

1.1 ここは第 1 小節の見出しになります

ここは第 1 小節の本文になります。

1.1.1 ここは第 1 小小節の見出しになります

ここは第 1 小小節の本文になります。

ここは第 1 段落の見出しになります ここは第 1 段落の本文になります。

この節には、番号が振られません

ここの節は付録とかに使ってください

2 数式編

2.1 各行に番号振り分け

各行ごとに式番号を割り振る場合は *align* 環境で行います。

$$F = G \frac{Mm}{r^2} \tag{2.1}$$

$$G = F \frac{r^2}{Mm} \tag{2.2}$$

$$\text{これは万有引力の方程式です。} \tag{2.3}$$

式 2.2 は万有引力の方程式を示しています。

2.2 各行に番号を振り分けない

$$\begin{aligned}\frac{Z_0}{j\tan\beta l} &= j\omega L \\ -\frac{Z_0}{\tan\beta l} &= \omega L \\ \omega = 2\pi f \text{ なので} \\ -\frac{Z_0}{\tan\beta l} &= 2\pi f L \\ -\tan\beta l &= \frac{50}{2\pi \times 2.45 \times 10^9 \times 15 \times 10^9} \\ -\beta l &= 12.2 \cdots \\ \therefore \beta l &= 167.8[deg]\end{aligned}\tag{2.4}$$

`stepcounter{equation}tag{theequation}` を使うことで式 2.4 のみ、式番号が付与されます。

2.3 インラインで数式を書きたい

ドルマークでかこむことで、 $S(A) + \int_X \frac{d'Q}{T_e} \leq S(B)$ のように文章の途中で数式をかけます。

3 画像編

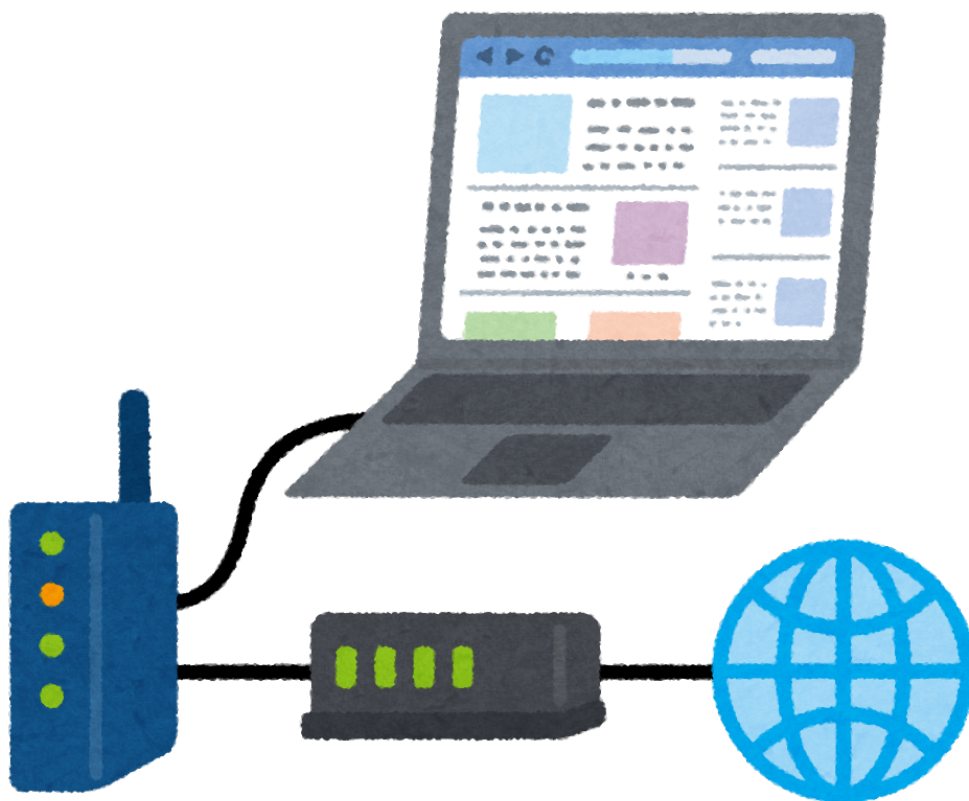


図1 いらすとや・有線 LAN 接続のいらすと

3.1 画像を並べる

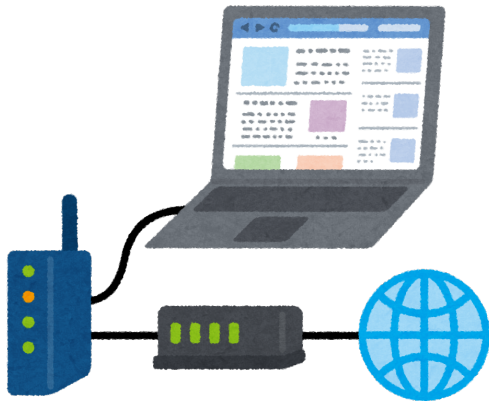


図 2 1 枚目

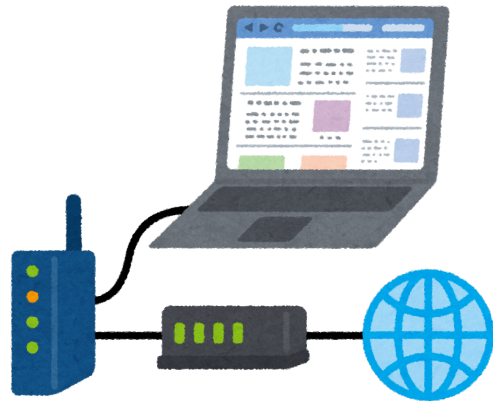


図 3 2 枚目

4 表の書き方編

表 1 サンプル表

	電流 [A]	電圧 [V]	時間 [s]
A	1	10	0.01
B	2	0.4	0.3
C	3	1	0.6

5 相互参照編

図 2 は横並びの画像を指します。

式 2.2 は万有引力の方程式を示しています。

表 1 はサンプルの表を示しています。

第 2 節では、数式モードの解説です。

6 参考文献編

参考文献 [1] より、以上のことが証明される。

参考文献

- [1] だつかくあーていー, "LaTeX 環境の構築", https://datsuka-qwerty.hatenablog.com/entry/latex/linux_install, アクセス・2023 年 7 月 22 日
- [2] hogehoe "ほげほげの本", はげはげ発行所, 発行・2023 年 7 月 22 日